

平成 28 年度 事業計画

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

一般財団法人 東都大学野球連盟



平成 28 年度 事業計画

I. 基本方針

我が国のスポーツにおける近年の関心事は、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックである。また、本年 8 月には、ブラジルでリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催される。同大会が終了した後は、さらに東京オリンピック・パラリンピックに関心が集まるであろう。2015 年 9 月 28 日に、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、国際オリンピック委員会（IOC）へ提案する東京 2020 大会の追加種目を決定した。IOC に提案された 5 競技 18 種目には、「野球・ソフトボール」も採用された。最終決定は、本年 8 月にリオデジャネイロで開催される IOC 総会の決議を待つことになるが、野球・ソフトボール関係者にとって、長年の願いを叶えるときが近づいてきている。

昨年、大学野球界では、2015 ユニバーシアード競技大会が韓国・光州で開催された。待ジャパン大学代表は、悪天候の影響で決勝戦中止、日本とチャイニーズ・タイペイの両者優勝という形ながらも、史上初の金メダルに輝いた。同大会には、当連盟からコーチとして生田勉監督（亜大）、選手として高橋礼投手（専大）、北村祥治捕手（亜大）、柴田竜拓（國學大）、藤岡裕大（亜大）、梶澤怜（亜大）、吉田正尚（青学大）が選出された。

以上を踏まえ、当連盟は、神宮の地を中心として、スポーツ界や野球界を担う多くの学生を育てていくことを基本方針とする。当連盟は、本年度に創立後 85 年目を迎える。昨年 4 月 1 日付けで一般財団法人へ設立登記され、社会的な信頼を得ると同時に、社会的な責任を果たさなければならない。したがって、今年度も法人として諸規則の制定・整備や、当連盟でも懸案事項であった事務局体制の整備を中心に行い、適切な法人運営に努める。また、日本学生野球憲章を遵守し、当連盟の基礎を固め、さらなる発展に向けた輝かしい歴史を構築するための作業を継続的に展開していくこととする。

なお、本年度は「学生第一、アスリートファースト」、「野球振興」、「公正公平で透明性のある法人運営」を重点事業とする。「学生第一、アスリートファースト」では、リーグ戦及びその他の試合に関して、試合環境の整備に努める。「野球振興」では、試合動画 LIVE 配信を中心とした、東都ファンや野球ファンのために活動を行う。「公正公平で透明性のある法人運営」では、諸規則の制定・整備や、中・長期構想計画の策定を行う。また、外部有識者の意見を取り入れることも検討し、社会から求められる大学野球連盟としての責務を果たしていく。

II. 平成 28 年度の主な事業

当連盟は、日本学生野球憲章に基づき、大学野球の健全な発展に資することを目的として、定款第 4 条に定められた次の事業を行う。

- (1) 東都大学野球リーグ戦及びその他の試合の開催
- (2) 学生野球の健全な発展のための奨励指導
- (3) 大学野球に係る調査・研究活動
- (4) 野球を通しての国際交流・親善及び国際相互理解の推進
- (5) 大学野球に係る関係諸団体との協力連携
- (6) 大学野球を通しての社会貢献
- (7) その他この法人の目的達成に必要な事項

(1) 東都大学野球リーグ戦及びその他の試合の開催

真摯にしてレベルの高い試合展開を提供するため、試合環境を整備し、東都大学野球の魅力を広く社会へ訴える。

【リーグ戦】

- ・春季リーグ戦（Ⅰ部） 平成 28 年 4 月 5 日（火）～5 月 25 日（水）
- ・秋季リーグ戦（Ⅰ部） 平成 28 年 9 月 5 日（月）～10 月 26 日（水）

※ただし、雨天その他の場合は順延する。

※Ⅱ部～Ⅳリーグ戦は上記日程に準じて、開催する。

【その他の試合】

- ・春季入れ替え戦

（Ⅰ部-Ⅱ部） 平成 28 年 6 月 13 日（月）～6 月 17 日（金）

（Ⅱ部-Ⅲ部、Ⅲ部-Ⅳ部） 平成 28 年 6 月 20 日（月）～6 月 24 日（金）

- ・秋季入れ替え戦

（Ⅰ部-Ⅱ部、Ⅱ部-Ⅲ部、Ⅲ部-Ⅳ部） 平成 28 年 11 月 4 日（土）～11 月 10 日（木）

- ・1 部 2 部 新人戦

平成 28 年 8 月 16 日（火）～8 月 18 日（木）

(2) 学生野球の健全な発展のための奨励指導

【審判講習会】

平成 27 年度の審判講習会では、NPB 審判技術委員長兼野球規則委員の井野修氏と NPB 現役審判員の木内九二生氏を招き、講習を行った。また、平成 27 年の当連盟卒業生で、NPB アンパイア・スクール修了生から、国内独立リーグに派遣する研修審判員が 1 名誕生した。今後も、リーグ戦運営を支える審判員の育成を積極的に推進する。

- ・秋（平成 28 年 8 月） 於：駒澤大学球場 諸施設
- ・春（平成 29 年 3 月） 於：國學院大学球場 諸施設

【応急処置講習会】

- ・秋（平成 28 年 8 月） 於：駒澤大学球場 諸施設
- ・春（平成 29 年 3 月） 於：國學院大学球場 諸施設

【奨励指導・研修会】

当連盟に所属する部員に対し、社会から求められるコンプライアンスやマナーの講習・研修を行う。

(3) 大学野球に係る調査・研究活動

【東都大学野球連盟 公式記録の保存・管理】

当連盟では、創立 70 周年、80 周年を記念して年史を編纂した。今後も公式記録を保存・管理し、当連盟の正しい記録を残していくとともに、過去の新たな資料から、必要に応じて正しい記録へ修正を行う。また、引き続き、共同通信社へ公式記録の送信業務を行い、マスコミ機関とも連携していく。

(4) 野球を通しての国際交流・親善及び国際相互理解の推進

【オーストラリア野球連盟】

オーストラリア野球連盟との協力により、今後も同連盟との交流・連携を進め、当連盟の国際化のさらなる推進を図る。

(5) 大学野球に係る関係諸団体との協力連携

【上部団体との協力連携】

本年度も引き続き、上部団体との協力連携を行っていく。

【懇親会】

本年度のリーグ戦開幕に際して、加盟大学の関係者ならびに、マスコミ、協賛団体、関係団体を招いて行う。

・平成 28 年 4 月 8 日（金） 於：明治記念館

【東京都高等学校野球連盟 協力】

平成 27 年度において、当連盟の秋季入れ替え戦と東京都高等学校野球連盟の秋季大会を同日に神宮球場で行い、東京都高校野球連盟との相互な協力で試合を運営した。本年度も引き続き、協力体制を築いていく。

(6) 大学野球を通しての社会貢献

各地で開催される青少年の少年野球教室などへの支援や、震災復興への支援など、社会的貢献活動への積極的関与を行う。

【野球振興活動関係費】

当連盟は、大学野球界の一役を担い、野球振興に尽力する。

【アイ・コミュニケーションズ スポーツアナウンサー体験協力】

・春季リーグ戦（1 部）および秋季リーグ戦（1 部） 於：明治神宮野球場

【NHK 新人アナウンサー研修協力】

・平成 28 年 4 月 19 日（火）、4 月 20 日（水）
春季リーグ戦（1 部） 於：明治神宮野球場

【読売新聞社 新人記者研修協力】

・平成 28 年 4 月 30 日（土）、5 月 1 日（日）、5 月 7 日（土）、5 月 8 日（日）
春季リーグ戦（3 部） 於：芝浦工業大学グラウンド・学習院大学グラウンド 他

(7) その他この法人の目的達成に必要な事項

【法人運営】

社会的な信頼を得て、社会的な責任を果たすため、公正公平で透明性のある法人運営を行う。また、中・長期構想を策定し、当連盟の継続的な発展を目指す。

(下位規程等の制定・整備)

会計に関する規程

評議員候補者の選出に関する規程

理事監事候補者の選出に関する規程

専務理事の報酬等の支給基準

決裁権限に関する規程 他

【就職フォーラム】

昨年度は、平成 27 年 6 月 20 日（土）に第 9 回目の就職セミナーが行われた。今後も当連盟の 4 年生部員に対して野球だけではなく、就職活動についても支援を行っていく。

- ・平成 29 年卒 対象：平成 28 年 6 月 19 日（日） 於：専修大学 神田キャンパス 諸施設
- ・平成 30 年卒 対象：未定

【プロジェクトチーム・外部委員会・アドバイザーボード】

明治神宮第二球場の使用停止に伴い、二部試合運用体制確立のためのプロジェクトチームでの提案をもとに、当連盟の活性化等も含め実行可能な検討を行う。

【web ページ】

当連盟の活動に関する豊富にして迅速な情報提供のために、SNS 等を含めたホームページの充実を図り、魅力的な存在をより広く社会に周知する。

【試合動画 LIVE 配信】

当連盟の開催する試合について、試合動画 LIVE 配信を行い、当連盟の魅力を全国にアピールする。

【85 周年記念企画】

当連盟の 85 周年を記念して、さまざまな企画を運営する。

[予算計上] 85 周年記念企画関係費 2,000,000 円（特別会計）

以上